

199,2 Or 3 新訂 卷七 幾那日 增補和蘭藥鏡標目 神經熱篇第一 病因 成金 12 0 治法大别 第一揮發衝動劑 神經熱流行及合併病說 28-1 シテ 揮發衝動劑用法 揮發衝動劑藥品 症候 そこ 標目 書 **省**法 本病治 幾 發 富士川文庫 用区羽区 3343 周 難 法 聯 戲題 治法總 秋燕 翻九 N. NET ST 赴 抬 1 13 346

U.			
●一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次	新訂增補和蘭藥鏡卷七 男 宇田川榕榕巷校補	那橙黄膏 幾那丁幾	感動敏銳症治 揮發醒神飲 「馬雪些勇

j

-		and the second state and the second state of t	Station Planter	Construction of the first relation to a real first second and in the second	
ノ宿疾アル人。氣候未顯著ノ愛更ヲ現セザレモ數	忽非常ノ感觸ヲ覺デ其疼痛增發シ。或神經創務及痛風等ノ患者天氣將=愛セントス郎天氣ノ愛動ト人身ノ失常ト相響應スル乳演愛=陸テ升降變動スルト毫モ與ナル、急強更三感徹スルフ究を影冷熱器。影情的	蟲等ヲ生スルニ因ル◎人身ノ感動銳敏ニメ氣候諸液分利ノ常機ヲ失ヒ膽液鬱敗シ胃腸ニ粘機或、第二感襲シ遂ニ脉管繊維。縱緩弛解シ諸器罷衰メ、サ毒毒瘴属ノ疫氣ヲ曝シ。泉人ノ皮膚。神經。肺頭脳		高月一 ションションション ション ション ション 一 ション ディン 一 か ふ ニ ア ディン 一 ション ディン 一 ション ディン 一 ション ディン 一 ション ディン 一 か ふ ニ ア ディン 一 ション ディン 一 か ふ ニ ア ディン 一 ア ディン 一 ア ディン 一 ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	白岳ノ大阪フテン目幾形ノ的幼天歌知セシメ北編国ヨリ治療ノ書ニ非ズト雖モ斯ニ神經熱は言永障勇勇、老七

1、二非レバ自然合併病ヲ鑒別シ難 ショホン、二者自我、「一」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、」、「」、」、「」、」、「	険重=ノ精々快能シャ空電電=モレバ皆、スナリ。是二血液腐敗ノ諸症ヲ兼レバ即、育勝熱、糖液熱、糖液ノ酢、毒毒、胃腸、	本書過盛ナルが如年王亡幾神經虛態」病性 「「」」」」、「」」、 「」」、 「」」、 「」」、 」、 」、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
難性嘔冒ト性經經 難症要素。 是ヲ難ノニ 、是ヲ難所 シ。 、是ヲ難所 シ。 、是ヲ難 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	The second se	病非北川。患弱ノ野子, 非者素, 非者素, 素, 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

シ或直三患者ノ毒気ヲ感受ス。此症肺暴一男子體 シ或直三患者ノ毒気ヲ感受ス。此症肺暴一男子體 シ或直三患者ノ毒気ヲ感受ス。此症肺暴一男子體 、急刺撃スルケ如キヲ覺デ其毒三傳洗ン の因ハ神經虚態メルケ如キヲ覺デ其毒ニ傳洗ン 和国、神經虚態メルケ如キヲ覺デ其毒ニ傳洗ン 、之、直三患者ノ毒気ヲ感受ス。此症肺暴一男子體	初二神經熱ノ因症治法ヲ舉ジ次ニ兼症及、合併病 シーキションションシーの 一度下名シクロ、全身諸器。殊二神經衰弱ノ 一度下名シクロ、全身諸器。殊二神經衰弱ノ 一般神經熱ノ因症治、大胆」の 其諸器神經衰弱ノ 一般神經熱ノ因症治、大胆」の 其諸器神經衰弱ノ 一般神經熱」因症治法ヲ舉ジ次ニ兼症及、合併病 シーキン目動。 変動ションムル原因甚多ン則、資源脆弱。 諸家 一種ノ流行残ナリ往古是ヲ傳染 シーサー 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
---	---

1

.

及スルノ云患者/精力甚罷弊セサル時か右/後年数、是二患者/精力甚罷弊セサル時か右/後年朝、足派上諸症上相應、相友セザル者ナリ·神滅除、原盤揚、力ノ生又ルニ陸に熱勢。た死、動気、動人、動力ノ生、し、動	「 トー 「 トー 「 た 」 病性タルヲ知ベン。 即脉逾小=メ弱ナル= キハ豚」諸旗」相及スルナリ、是ヲ以テ神經 ノ病性タルヲ知ベン。 即脉逾小=メ弱ナル= ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	スル「火シ前菜務、御川大地」を加え、地」の「水山」、シー」の「水山」、シー」の「水油」を加える、「水油」を加える、「水油」の「水油」の「水油」の「水油」の「水油」の「水油」の「水油」の「水油」の

曾丁口詞来意 参し

風雲堂志

1

衰弱 镖 熱 總 氣 候 件 諸 拒 焮 諸增 ス 病 易 周 感 補 猶 症 テ 甚 機 等 此 いタ = 首 症 衝 ス 征劇 IL 毒 フラ 微 動 病 病 病 LZ 顯 2 多 過ぎ 能 其 = 候以 性 = 11 ス 見 弱 著 病 病 7 勢急疾 藥 性 忽 ?機 i 現 ズ。 是 隨 相 相 え -1-势 打 势。 然した 過盛 其 ナ 势 4 ス 症 产能 ス此 甚 壯 E 者 種 ラ × 諸 拒 已分 n 狀 雖 既 ~ 病 魏 諸 キ 者 ス ス ザ 甚 蹤 甚 症 豪 + P 永 ス 1 シタ 侯 故 失 其 病 七 症ル 2) 避 绝 緩 X 老 凫 1)。 IL 常 レーモ ル 動 腦 端 跡 大 者 雨 = 慢 右 因 諸 V 髓 カ 劇 一八急症 ス t 1 + 3 諸 -藏 患 100 A 甚 醌 + 豪 症 a + 1 潮 + 中 清 如少或忽衰能 患 -症 除 症 慢 劇盛 感 The 敏 + 憊 意識 1) 至 C 者 币 凉 神 E i 候 共 疾 甚 此 觸 較著 是 六 神 等 頭 ~神 氘 症 語 t 100 知 + 經 頭痛 E 11 聶 覺汉 ス是専ラ 又急劇 ())。 葡 -ハ其病 家 1 熱 統 係 實 腦譜 强 52 起 隨 逃 慢 經 韵 妄 う IL 括 及 功 患 中华 IL 症 1 主 症 因 全 酒 E ス 諸 ヲ 諸 精 神 ス = 虛 毒 逾 T 體 IL 奏 1 ナ + IL 器 隨 レバ 經神 症 憊 神 患 1 是 所 ヲ カ 11-若 i ス 如 精 皆 Ł 其外 經 者 ヲ 抗 急 0 礼 候 1 究 キ 如 感 う 便 諸 情 柜 田 質 纖 症 揮 拒 神 各 1 + 竟 驗 ŀ + 觸 多 症 友 滋 發 變 維 變 辨 天 資 發 n 經 E ス 部 蒸 1) 1 珉 多 益 抗 ス

七

曾丁や「刺換意」

後して

R

長を

長

「殊=多ら然正必壯强健ノ人、亦能此病ヲ患」進ス	スル故三治法三於テム顯著ノ分別ナシ唯其抗拒
「殊=多ら然正必壯强健ノ人、亦能此病ヲ患」進ス	、急劇ナル者、急症キナリ、元運力漸、虚脱スルノを創すル者、優症キナリ、気動ナル者、急症キナリ、気動すれ者、急症キナリ、気動すれ者、急症キナリ、気害、「一、
「殊=多ら然正必壯强健ノ人、亦能此病ヲ患」	要酸ノレ要三於テ、急劇、一要三於テ、慢後ノリ、
「殊=多ら然正必壯强健ノ人、亦能此病ヲ患」	、各些トナリ或、強い、キリ、気、、
「我」、」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、

.

Kitasato Memorial Medical Library

de

times" .

多シ珠= 鵞口窟粟珍水胞腫瘍膿瘍等ヲ發スレモリ○凡諸病」奏北年為東京小月一四天事務」の利非理と民大ノノーの其毒自一加キ外地ノ候ナノノ其毒暗=排除シアーハ右ノ如キ外地ノ候ナノノ其毒暗=排除シアーハ右ノ如キ外地ノ候ナキたハ治難キ者居シアーハ右ノ如キ外池ノ候ナキたハ治難キ者居シアーハ右ノ如キ外池ノ後入日下萬後下ノノ其毒暗=排除シアーハ右ノのキ外池ノ後大キたハ治難キ者居多、夏シエキョン、「「「「」」、諸病」、毒排池ノ候大和日フ、「一」」、「「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、	オアリ(い親及、動脉管,外の、 者アリ(い親及、動脉管,外の、 者)の一般、一般、一般、 一個、数小人、 一個、数小人、 一個、数小人、 一個、数小人、 一個、一般、一般、一般、一般、一般、一般、一般、一般、一般、一般、一般、一般、一般、
禁口窟栗珍水胞腫瘍膿瘍等ヲ發スレモ 育」非泄ノ病愈み足ヲ有形ノ分利非泄ニモ般アリー、其毒前ノ肉和非泄ノ病愈み足ヲ有形ノ分利トロア然ニ神經熱、カイレモ善酸トノク其毒暗ニ排除レノカキャンに、非常、ないた病毒除カズノガー、其毒自、汗大小、 アニー、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	上 青神香胃漠林撮空。等危 引来、「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」

口自

Kitasato Memorial Medical Library

風震差馬

2

Kitasato Memorial Medical Library

1. 7

W WERZ	1						-				1		a management of			-	investe a						T
「日丁にときた。」「「王」」「王」」「王」」「王」」「王」」「王」」「王」」「王」」「王」」「	弊シ神經虛憊ノ諸症較著ナル者ハ郎惡性熱	ノ療法ヲ施ノ諸症减セズ脉細弱ニノ精力漸	良トス、又冷湯法ヲ頭部ニ施ノ殊効アリ出ッ	各部海血法度部二與針法或,	臯	スル者後ノ旅衛合併篇二出ハ初發刺絡ノ殊	ノ貴重ノ部ニ血液湊積ノ	流行ノ神經熱、多少防脫衝法及"寫血法良効	功アル故=始終用"テ良或寫血法"亦緊要トス星施蔑兒ハ清亦滋潤ノ或寫血法"亦緊要トス	等月云:後二出及屋施蔑兒 等月用清凉劑,酸收劑及一為一人, 图等月用			除スベシ〇各部微街ヲ兼テ熱勢過盛ノ症、	或乳汁沙糖食鹽ノ調和シ吉利詞多見トンが	中污物鬱蓄ノ病毒ノ分利ノ妨ル者ハ袋下剤ノ與	沈垂ヲ振起醒覺ノ病毒分排ノ機力ヲ逞發ス	與へ其毒ヲ海掃スペシ是三因テ腦及神經ノ		然正初發患者惡心嘔噦食ヲ欲セズ心下痞満	敗熱ヲ兼ル故ニ壯神劑ヲ用テ治スルヲ法准	治法總指 神經熱、神經虛億之或血液腐敗	ノ病毒ラ分排シ病機ラー轉ノ田後ヲ得者ナ	
三堂家	住熱/候	力漸ク罷	出来の古	施スラ最も	徳スルフ	ノ殊効ア	旅街ヲ發	良効アリ。	トス近年	テ京解シ			症, 防 微	トン施ノ驅	下劑ヲ與	ラ逞發ス○腸	經ノ罷弊	八吐劑灵	痞 満等胃	法準下ス	腐敗溶崩	者ナリ	the second se
	ACANON		17/201					Carl Constantion of	-			111111							-		and the second	1000	

南京の 「 市 「 市 市 市 の 海 三 龍 、 市 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	西三道 新 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

免止:至天、乃是ヲ補住持重センガ為:第二ノ、泉上、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	レバ其虛應セル神經質ヲ挽四スル「能ズト知べ	動增進ス。故三神經熱ハ此劑
	Longer and the second s	and the second

LUBY C

書丁四個人意見、長二、	御動潮用法 神經熱ノ症=	中加斯斯的海道、一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大

■「「「「「「「」」」」」」」」」 ■「「「」」」」 ■「「」」」 ■「「」」」 ■「「」」」 ■「「」」」 ●「「」」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「「」」 ●「」」 ●「「」」 ●「」」 ●「「」」 ●「」」 ●「」」 ●「」」 ●「」」 ●「」」 ●「」」 ●「」 ●「」 ●「」」 ●「 ●「	中部市護衛 希子 しい 「西西西南部市」と、「西西西市市」」と指力指後スルたハル潮通中ノ候トへ開後、「「」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「

會丁

日日を意一人なと

風雲堂卖

11

1

Kitasato Memorial Medical Library

.

東西二十動時、基床数、ノ指下按算シン、「教」の「教」の「「教」の「「」」」の「「「」」」の「「」」」の「「」」の「「
--

南山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、	「南部麗麗」 福十 十九 馬雪四萬

1 ,

4

白丁ロ、明弦に見し、いいい	勝ル樂品アリ。假令べ民怪列利精ノ如 完モ其六倍ノ効力アル後性ノ薬ヲ與ルガターノ効力アル薬品ト雖モ六倍ノ効力アル後性ノ薬ヲ與ルガターノ動力アル後性ノ薬ヲ與ルガタッキャキキ、倍ノ量ヲリンレン、たち、低量トニ因テ緩急輕重アリ。	差等アル「準知スベシ〇又揮發衝動奏ノ差等アリ或此二種ノ病性。一人ノ	東京市、一委死後、三和と奥へ、以 う取う時、一委加小期治ハ日ニメ危影強、三朝中ノ峻楽の成三年の一時、三朝市川町市、一支、東京市、一支、東京都市、一部市、市市、市市、市市、市市、市市、市市、市市、市市、市市、市市、市市、市市、市
1. 風雲を支	キノシア 動食が見 シアレアレア 「一年後勤」である しました しょう	又揮發衝動劑ノ効カハ一發衝動劑亦緩急輕重ノ病性。一人ノ患者ニノ往	「東京市」」、「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「

• •

.

Kitasato Memorial Medical Library

			 In the over-special provided in the state of the special structure of t	-
氣ノ感受攝領スルフ甚多ク且敏速ニノ是ヲ全軀	効アル所以、胃=循行スル神經最聚多ニメ其薬用ル故ニ是モホー部ノ藥剤ナリ内服剤,最多ノ是ラー部ノ藥剤ナリ内服剤,最多ノ	ア 澈 フ 用 レ元 = ス	動藥フ多量。用、下難モ國日川些以ノ阿芙蓉液若, の焼酒ノ峻力の及、ボルガ如之故 三葉力名,血液 、運行フ増進スレモ是=多少微甚ア川,但血液ノ 理行フ増進スレモ是=多少微甚ア川,但血液ノ う刺或衝動甚年藥モ是ラしノ患者。投ノ其効後 テル「アリ。或しノ患者。我ノ大票。因テ 費、加丁アリ。或し、た来一個アル故 = 要力各,血液 、 一、「」」」」、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	井言永康察委 老十 二一月雪雪嘉

ロトまくた

	, t
家受敏捷=メ効功ヲ奏スル部ハ腸ノ下部=若ハアニハレスシの推発御動剤ヌ吉利詞家見ア尤長トス曾天数武テ外助ア王をした、「シ炎=吉利詞家見アガルスル前ノ揮發衝動剤ノ素力を強トン施スル にたっちまし、勝ヲ刺戦メ泰八俱楽力だ、後ナル者ニ した症=是ヲ施メ殊効ヲ奏ス但楽力だ、後テレントレン 「シ炎歌ナレン腸ノ揮發衝動剤ノ薬力テ朝シーン施スル にたの服スル前ノ揮發衝動剤ノ薬力テ戦就テ殊効 したっちょう。 「「「シ炎歌ナレン」、 「「「シ炎歌ナレン」」、 「「「シ炎歌ナレン」」、 「」」、 「」」、 「」」、 「」」、 「」」、 「」」、 「」」、	「「「「「」」」」」」。 「「」」」」。 「」」」。 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」、 「
Kitasato Memorial	Medical Library

1

○蒸漏法洗漏法モ亦甚ダ効アリ是ヲ以テ内服セ	阿芙蓉液 四八ヨリ六 驚越幾斯劑 の人ヨリ六	年町からに京感教育の一種二氏ヨリ四章急ラ後弛を築汁ラメ腸中=持留センム	感觸甚ダ敏銳ナル症か左ノ鎮痙藥ヲ擇ミ加テ腸無膠、沙列布、		藥汁ヲ粘膠ト為スニハ左ノ品其他粘膠質ノ藥ヲ			自林子一錢葡萄酒一二與人麝香四氏二	薄荷加密列與二遇い前蒿花习代致那三錢ヨ川四、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二	御草根 照見尼加州的首都 過ギズ	探テジ	○吉利詞爹兒=施ス藥品ヲ左=略舉ス其症=應>メザルが為ナリ、或症=隨了鎮痙藥ヲ加ベシラ緩和又速=選出也或症=隨了鎮痙藥ヲ加ベシ	スベシ或其樂汁ヲ粘膠ニシ盤セシメ馬腸ノ攀急
-----------------------	------------------------	-------------------------------------	------------------------------	--	-----------------------	--	--	-------------------	---	------------------	-----	---	-----------------------

皆丁

四月長意

風雲堂多

散ス其精力ノ罷弊沈垂ヲ提起醒發ス 化シ是ラ以テ數全驅肢節ヲ洗婦ス其虛億ノ多少 虛應沈衰ヲ挽四メ屢大効ヲ得タリ。其方 石酸 草類ヲ浸シ温テ布庁=難シ適宜=數肢體ヲ洗湯 右三 スル効諸弊=超出シ各部疼痛等/諸症ヲ速=消 ス又左ノ洗漏法皮膚ノ寧急幸縮ノ緩弛と精力 蔗シ全腹ヲ蒸漏ス又方 羯布羅精 ▲ヲ以テ腹部 ①林子泥並芫菁發泡膏ハ患者ノ精カヲ挑起撥揚 = 隨上揮發衝動劑ノ藥品ヲ擇こ加テ殊 - 妙トス シ是フ 左 服 ヲ得タリ其方 白林子煎汁 ル 及該節ヲ蒸漏スの胸腹諸器殊」胃ノ感動甚ノ へ特川此法ノ之施 葡萄酒 燒酒羅精以許 右三味。温湯二加, 一家 揮發衝動剤ノ効カラ輔助ノ遅發セシメ數良影 葡萄酒一石鹼一右二味水二溶シ是二芳香 朝ノ氣味=堪へズ或小兒等ノ内服藥ヲ嫌者 加力 味合和シ或芫菁丁幾 密列 荆芥 右四味葡萄酒 二加煮 一布 片 洗湯法偉効アリ。又皮腠ヲ穿開メ蒸氣ヲ宜發 以テ屢肢節= 貼被ス又方 薄荷 ソ全治セル者多シ其方 劑 留少許ヲ加、布 片二熊 天 二十四 葡萄酒 12 湯布羅 八趾。 菖蒲根 ノ禁 名 内 1 Th. >

曾丁四周終竟 後七

風雲堂戲

曾丁四百多天亮 、 長し 抑制 ヲ 强 18 服 又諸器ノ機カト知覺トヲ調順シ ア 色發スルヌ度チン發泡セシムルマナタ是ラ ス ス 復委衰シ或其虛憶却テ i 症 日 股閒胃部 り時く更換へ貼スルヲ佳小ス諸症危影ノ 第二保固强壯劑 揮發衝動劑 八樂氣血 ラ 神經ノ揮發活揚シ她テ精カノ挑起撥揚ス 唯 常 壯劑 若八八日主每日更點又大效习得夕川。但各部ノ 收固ノ精力 又飲食消化 以テ神 除キ新鮮清爽魚ヲ迎到スルマー大緊要タリ 患者、室、毎日掃刷、勉メテ乾淨=シ鬱蒸氣 痛一等部 し故 服後患者ノ精力。速 = 罷散 1 神經ノ機カラ 調 ス故ニ患者虛憊 後蘇氣揮散シア 10 い則然 察八其患處ノ近傍二是ヲ貼ノ良 適 下心 經ノ本質ヲ保充完固スルコ能ハ 脊椎等ノ知覺敏鋭ノ 1 11 ラキ ラ ノ原基ヲ壯實シ隨テ其運营 ズ。清 機カヲ保護ノ血液 4 全軀諸器 挑撥ノ債盈セシム 三月 メ感動甚ダ V 功 初 バ 績 ニ倍ス 且 纖 二十五 挑 1 4 其失常 ル者 部 撥活揚 維及神 ス × 本 少開 12 IL P 国馬堂成 1 2 1)。 質 經 1 動 IL 七 中二入 定 ズ是 弊 ヲ四 運 際 ヲ 約 貼 1 V IL ス敏 保 本 精 培 除 鎭 動 1 + 1 FE 質 赤 復 去 定 補 固 言〔 是 テ ヲ i 力 劾 ラ 六 Kitasato Memorial Medical Library

本要根國 基要根國 基要根國 基要根國 基要相關 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	下上 正報 御祭御書 此朝 二 馬 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
--	---

撃急ノ増發シ其症轉劇成ナリ又感動大ダ運鈍ノカルキ疫、成令、 葡萄酒 忽形薄鎮痛衣 龍腦 神戸 「天夏潮」シ風テ効多シ。成今、 裏那丁幾潮」シー、「東京、「東京」、「「「「「「」」、「「」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」	「「「「「「「「「「「」」」」」」」 「「「「」」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」 「」」 「」 「」 「」」 「」
Kitasato Memor	ial Medical Library

ハ粘機污物壅滞於候アル者ハ保固强壯劑害アル
幾那。明禁阿煎藥等ナリ〇胃腸消化セザル食物若
ヲ償フニ足ザレバナリ。此症ニだ一致アルハ緑整精。
血液溶崩ノ漏汗失血等ノ增進ノ逾虚脱スルノ害
劑ノシ多用、ご是ヲ以テ其精力ヲ揮發活揚スレ モ
症與腐い保固强壯劑ヲ的當下ス。此症專揮發衝動
○脉管纖維甚ダ縱緩弛解シ血液溶與崩壞ヲ兼
用ラ其精力ヲ資補スベシ否サレバ動軟バ再發ス
神經熱い既二四復スト雖モ仍暫久保固强壯劑ラ
テ樂氣精微揮發トナリ且其感動過甚,靜止へ〇
in the second
樂ノ冷浸劑トシ或鎮痙藥出ッノ加用ベシ是二因
ナル症=保固强壯劑ノ的當スベキ症アルドハ其
消化カアル者、散劑トシ用テ殊三良の感動鏡敏
故二幾那モ冷浸潮ホシ用レバ其効だ提ナリ胃ノ
右ノ症ハ揮發性多クメ保固性以キ藥劑適應スル
微揮發ノ藥氣ヲ含之煎劑ハ多ク固質ヲ含バナリ
浸劑魚が出スオ云小シ用、シ、凡冷浸劑、多ノ精
斯烈刻
亞兒尼加又水楊梅根 養皮
ノ雨効アル

1

等ノ防燃衛法ヲ施ノ頭ニ治ス ○神經熱ノ初發術旅街ノ展ア スル者、幾那害アリ。熟病ノマ 酸トス○或云熱病毒神經三侵 教那ヲ用デ呼吸不利及告乾燥逾甚 ノ症アルハ炭那告アリ。熟病ノミ 幾那ヲ用デ總身發汗アルハ良 ノ症アルハ炭那的効アリ◎湯病ノミ の神經熱ノ一後トス①熱勢減	「胃腸熱」同し。先,其壅滞了除治ス 「胃腸熱」同し。先,其壅滞了除治ス 」」」」」、「胃腸熱」」」、「、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」	to the state of th
●熱病ノミナラズ諸病ニ幾那良功アリー、或呼吸塞難不利 一般病ノミナラズ諸病ニ幾那良功アリー、或呼吸塞難不利 一般,就是キハ幾那害アルー 一般,就是キハ幾那害アルー 一個,就了,是生生、幾那,一, 一般,就是生生、 一般,就是生、 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個,	御法,那家保國強壯劑,要求, 一百万余, 一百万, 一百万, 一百万, 一百万, 一百万, 一百万, 一百万, 一百万	二十九), 百三 月 一引

Kitasato Memorial Medical Library

-

. 3

14	•			1						1			*	1.							, . , .	1.5
1	消化ノカヌ察ノ與ルフー	朝上同シ。但食物三揮發衝動ノ性アレバ亦揮發衝	飲食 食料亦患者ノ精力ヲ培補スル丁保固强壮	右硝子曇三内周封シ浸丁六月。澤ノ去川周封シ貯	一發皮一了 燒酒 二十五弓	幾那二二马、二、攝爾為答 三錢	麻低温失頭或剥駕亞斯ヲ加用テ捷効アリ	一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,	及漏汗人症、此劑、緑礬精以許加、戶適意			一,一,一,一,一,一,一,三次,一,用,那,通風氣,素問,腹滿	等一切胃腸虛弱人諸症、此劑一匙水二匙	熟惑液习生之。肢體羸瘦姜黄病、粘液留飲腫	幾那下幾劑複方解右二出 飲食消化之難ノ未	右陳和以一時每二一茶匙了服没 一	橙度奮利別在三弓部刻命修修 熊直	云御幾那末六子一点小大黄末 愛 ~~~ 五人前	幾那橙黄膏、虛憊、便秘ヲ兼に症ヲ治ス	每年并并就就服入就就剛就放發過發了該了治人一	右水二市ろヲ加煮ルて外分時。源テ澤ヲ去リ一時	「言子言之子」「一」」「二」」
								K	itasato	Memorie	l Medi	cal Libr			1	1		1				

and the second second	in he de la
カノ見省多いちょ	这建カフ
ノ後トス 此症饒多 幾那	トハス血
腐	大甚血液腐敗
ル炊衝	ル紫
テ盧傅太甚血液腐敗三漸ム	アリの教病ニ因テ虚態太
古三参出シ	必モ汚物ナクノ熱病ノ悪液舌
テ種にい液ヲ滲出ス。武胃中	SI
り故=體中一後出セル諸液ト	スル者アリ故=體
液ノ舌上=滲出セル者ナリ。	非ズ益と古苔ハ病液
必病毒 胃腸=	大き苔アレバが
art · · ·	a state of the sta
病性ト告苔ノ原由トハ固ヨ	論ナシ然正胃腸熱ノ病性ト告
那害アル	滞ノ症ハ幾
ヲ得に「	亦舌苔アル症二幾那只與一一一致
正幾那,三,テ効アリト。予モ	舌苔或云舌苔アレ圧幾那月
~ 燈網 二十五多	
根等消化シ易キ者月揮之與	察的食素寡民國菜蔬根等消化
腰皮倍増ス、故二消化四カノ	器フ刺載米其熟於重聽只倍増ス。故
、未熟人惡液 ノ生シ更 二諸	食ヲ與レベ消化セズメ未熟人
《或胃中污物アル症 二强天	ヲ與ヘシ胃、虛聽甚么或胃中污物ア
スルニ暗	
二二 した 日 小	北言余萬美金、える

長いとな

and and and		and the second second			and the second	N. C.		
者アリ	苔アリ。饒多三刺絡シニ時ヲ經テ其苔盡ノ消スル街劑滑原ヲ的當トス曾テ燉街熱ノ一患者厚キ舌ナリテ舌ニ滲出セル者ナリ。此症ハ消石。其他防炊	若、、黄色ノ病皮ノ為ス。此苔、體中ノ沙乙網厚ニ熱、亦增劇スの微衝熱ノ香苔、多、、稠固ニノ白色痛、胃疼症腹頭旋眩暈、大便閉若、、下利等ノ發ン其	- 幾那及保固强壯劑ノ諸藥ヲ用レバ胃中困重項。 正說後ノ胃腸熱見胃ノ機カヲ以テ消化シ難キ症	「「「ナシ、故二此症」を持き、悪し、ノシ、故二以二 一般一世下刺ラ、然下ノ是ラ用 に緩慢 非除	い强壮朝ヲ以テ是ヲ分排消化スル「能ハズ然」自シ排除スル症項シカラズ然に汚物過多ナル者	八强壯潮ヲ與ラ胃ノ機カヲ健運	今月以テ要形月日レ栗わトスル首多レ又胃湯污ノ、愛那月茶スベキニ非ズ外ニ神經熱ニなテハ古月投スレバ患者其死ヲ免レズ故ニ古苔アル症焼	

曾

調終竟

一きと

風雲堂告

新	新
卷訂 幾八 着 那 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	前有一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一個人一
費那 開 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	法人的意志成 服 我 一個 服
樂柴 紫樂 月	一一一、「「「「「「「「「「「「「」」」」、「「「「」」」、「「「「」」、「「「「」」、「「「」」、「「「」」、「「「」」、「「」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」、「
	大、大、東京、京都大学、「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「
	一行二歲萬石與建國等買加

12

日フ其禀性ノ刺戟カラ以テ刺戟衝動シ是ラ以テラ 但其藥性二般ノ別アリ其一是ヲ刺戟鎮痙藥トカ徑=神經=達メ其失常激迫ノ運動ヲ解スルノチ 東京勇, 有然失常不素ノ運重ラ和常ノ勇定スルニ非ズ唯其藥	曹補和蘭藥鏡卷八三頭 一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個		· ● · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
--	---	--	---

1. 11 1

.

日日の

E

	and the second sec	and a second second second second second	5 Janette	and the second se	and the second s	A Designed and the second s	_
シート品	朝 朝 章 香 密 麗 香 密	ズ。熱ラ誘發スルトナシ是アの一、神發育動劑トスルイナシー、神愛者動劑トスルイナ	うううろ	効 ヨ 為 ス 然	ノ効カヲ具レニ非ズ唯 ショリンテ朝美に報利 ションテ朝美に報利 ションテ新妻に引 ションテ新妻に相 ションテ ションテ ションテ ションテ ションテ ション ション ション ション ション ション ション ション ション ション	> 是 ラ 利 戦シ	at the the man and the
宜 / 是 = 準 ノ	現龍 (注) 題 图 (注)	1 是ヲリ、此即神經		正動脉ヲ衝動ノ血液テニ種トスーハ神經シ刺戦ノ其効ヲ致、ナ	其来ノー種ノ禀性=テ徑, 戦ノー種ノ票性=テ徑, 戦ノー種ノ票性=テ徑, 戦ノー種ノ票性=テ徑, 東京豪毒=因テー 要素の した。 東京豪毒= した。 東京豪毒= した。 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の	ナリ 崩 デーゲン刺 神經失常	

			· · ·	i	
自丁日月長見 長、 の遊寧摘掣ノ諸症。殊 意識 二陸ノ諸筋強テ 屈 リノン物響=堪、サル者 の患者感觸已甚ノ。明ヲ羞チ閣、二向ヒ。耳甚タ聰	ち= 堪、精力是が殿、下ノ 「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	一時町芙蓉の二川に見いたいであったい	1運行ヲ増進ス是ヲ進運鎮痙藥トロフ 此華爾斯ヲ以テ動脉管ヲ刺戟メ熱ヲ務起シ血液 催聴鎮痙藥 此藥又分ラ二種トス、、其質ニ含	シ夏、一種ノ麻痺毒アリアの一種ノ麻痺毒 「「「」」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「	古京與聖藝百二 尾雪雪,

.

Concernance and	and the second s	- Alter - Plan in a second and the second and	
留丁の男を見 え、ノ百病皆然り。神經	セザルヲ要ス。原因除ケバ標症自ラ治スレバナリー、病ヲ療スルハ病原州病性、一蹤跡ン標症ニ眩惑神經熱兼症篇第二	ノ患者能其剤=堪ルナリ假令バ感	「東西」「東西」」「「東西」」「「東西」」「東西」「東西」「東西」「東西」「東西
熱ハ見症殊ニ	シ標症ニ眩惑	無斯劑等ラ加ルガ如シー 一一下川。是二鎮空際美術之子」の一十二下川。是二鎮空樂ラ加ルガタを読を見ていた。其最後性ノ剤	ラ加用デ其痙攣ノ運動ラ緩 一レハ皮膜の崩壊、道等攣急牽弾ノ運動ラ緩 しい皮膜の崩壊、道等攣急牽弾ノ運動ラ緩 しい皮膜の崩壊、道等攣急牽撃」 一日、皮膜の動力、皮膜の 一日、 一日、 一日、 一日、 一日、 一日、 一日、 一日、 一日、 一日、

.

1 .

アガル故=先,是ヲ療スベシ。症治。胃腸熱合併篇=	是=堪ル「能ハズで参瀕死」危為ニ至ルナー版 を、頭腦心肺」患症」如キ、輕易ノ攣急ト雖モ スルヲ專務トス壞疽モ亦所在ヲ論ゼズ速=廃 スルヲ專務トス壞疽モ亦所在ヲ論ゼズ速=療 スレヲ専務トス壞疽モ亦所在ヲ論ゼズ速=療 スレノ専務トス壞疽モ亦所在ヲ論ゼズ速=療 ス	「「一時」要務トス○神經熱中。(二/患症劇盛,」	あるに二至テハ別=一法ヲ設テ標症ヲ治スルヲ以多端ニノ動戦症状=眩惑シ標本相及スル療法ノ後

今丁四度電子(小丁二丁ノ唯門ノ威動甚キニ	シ或酒石英ラ水ニ溶シ代用シ或酒石英ラ水ニ溶シ代用	惑心嘔吐 此症治セザレバ患惑心嘔吐 此症が生きの 美国 一個
肉種汁或種汁或醋」 諸	代用スルモ良へ間中の御御御子を見たり、「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」「「「「「「「「	安成 物縁汁或燈, 二世 一部

8												F											-
	ラ論セス酸性 鹽 ラ合テヨク 痙攣ノ運動 ヲ鎮定	リ發スル嘔吐ヲ治スルナリ◎温泉ハ天造人巧	行メ降鎮メ閉塞ヲ開暢シ以テ胃ノ感動寧急ヨ	ノ朝キ失常ノ運動ノ静止シ蠕動機ノ	う鎮定スル 効力アリ。故二胃腸ノ	中二散淡シ其性緩和ニノ痙攣ノ	ナル其聽出セラレタル酸精ハ亞兒加利	シ胃中ニ於テー種ノ中	2	胃中ニ於テ忽沸淬ノ亞見加利鹽刺為亞ノ貨ニ			第日	ノ亞見加利鹽下合抱スルカ大二勝レ	精ナー知顧是ヲ炭酸トロニ比スレバ剥篤 近見加利盛ノ質=含メルニ比スレバ剥篤	加利鹽二含メル酸精鹽麻烟涅失亞等	拘線け。橙汁、醋酒石英ノ如キ植	奏入川	即胃中=於テ炭酸」是麻個型失型=含メル酸精	合和シ半概若い	右麻倔涅失亞ヲ取リ適宜ニ水ヲ和シ服シ了テ直	蒸餾水,四弓 、 一,	I then the second secon
					SOM DOCTOR						ST 11 12 1					1	1 1	191					

奥弊ノ急	ヲ答、萄憊外劑	胡角〇和右	5	
IN S FR XIII	用等酒セ敷ヲ	风桃 惡 ン 調	「達」方	モシ市大
	治興他二旦用	西乳心服利	沙蓬鎮鎮	亦大多便
症病甚寐	スレ精因吉キ と。 ベバ烈テ制)鎮	等栗吐一	and a second	クラ
定劑須	シ、却ノ水詞、瘦	ノ子ノ 明子乳症 君		酸ス。
	テ壯及 爹 / 通 潮	仁其 焮 ,	、 、 鐵 未乾 効	9 其 含 効
	吐劑稀ヲア	1他衛一	寺/ 二者 川	山力
カラ保護メ	ホノ大 効 アリ此症 ハ 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一	朝瓜 候 4	好, 美洲、	故多=分
護ザラ焼	者 衛液大漏	菲·兼 ·	* 当 酒 之 兴	鎮八
滋止ズメ	者麝シリア	阿ルガス者者		嘔 炭 1
スパカス	此间。」則影	失い、是		良 =
し先 是 ル	· 症 美 心 骨 ₱ 月 ₱ 冊 掛 攝 吐 甚 胃	The state of the second state of the	反 感劇	劝 在了
專靈為經	壯 攝 吐 甚 胃,	密:質 耳 現 越 1	1 者	10
要劑= 寧	神爾レンダ部	幾*乳 ス	R	◎ 麥 酒
14 5	and the second s	A PHJ		IN IN I

●胃腸汚物壅滞,若、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	●神經感動過甚ナルヨリ右ノ諸症ヲ發スル者アリニア、○神經感動過甚ナルヨリ右ノ諸症ヲ發スル者ハマ芥子泥其他揮發ノ効アル際方ヲ施ノ尤で良強ノ主察=隆と峻性ノ揮發衝動潮メ用ベン其症、意まキョリ右ノ諸症ヲ發スル者アリ此症ハ神經	ス○胃腸汚物壅鬱セルヨリ諸妄不寐急痛寥急等 のシボッ故=皆其症治=從と療スベン○患者虛 の、便院、使失禁。其他擊急者症ナリ、其甚年者、明此症、炊衛合併病ノ治法=從と虛實假症 見、使失禁。其他擊急者症ナリ、其甚年者、癇疾 個別、使失禁。其他擊急者症ナリ、其甚年者、癇疾 個別、使失禁。其他擊急者症ナリ、其甚年者、癇疾 個別、使失禁。其他擊急者症ナリ、其甚年者、癇疾 個別、使失禁。其他擊急者症ナリ、其甚年者、癇疾 個別、使失禁。其他擊急者症、筋陽肉潤、顫振 抽動。 で遊嘔噦不語口禁。胸中煩懣腹肚擊急、心便淋症、小 で遊嘔噦不語口禁。胸中煩懣腹肚擊急、心便淋症、心 者、見、此 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
みん 朝 ス 祖	南 六 元 經	虛,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一,一

1.15

譫妄 然ル 法若、吸角习顧顧及項窩三施、海血之本子 痛ヲ兼テ城衛社熱ノ候ナキ者ハ阿芙蓉ヲ用、不効 ザレバ遂 シ其カラ奮ラ抗抵闘禦を發スル故無其病勢三克 郢 アリ。但血 ガ や貼 溻 干非 如三十雖王神經熱三於三八皆假空天 当 ス 狂 ン脚湯ヲ施シマ頭上ニ冷湯法 ヲ施メ速功アリ強人」皆てしい ノ多ク頭腦に攻街スル症アル者 一星竭弊盡ノ死人の劇寺諸語一不寐頭 ズ 躁譫妄搐製等於 唯神經八良能自之病妻又張除 神經大機力。 「「「「「「 冷 强 盛 茶 ~ セ メ真 -敏捷 蜞 針 ラ +

ま言を

泥芫菁膏,聽多二 ~ 症 體票痙攣質ナル ~ 随上譫妄自う歇 動 ル者アリ。 因テ譜語スル者アリ其候脉 ○患者精力極テ シ乃葡萄酒攝爾扁答龍腦亞的 精力虛憊之神 ~ 南ノ與ルニ些モ激動セザルノ以 揮發衝 此症 動 八郎腦炊街人假症 劑 ~愿應之感觸知覺甚ダ運 ヨリ發ス其候 經感動甚ダ銳 ヲ 與テ患者ノ 貼メ殊効アリの其脉 ム失臣密越 沈 精力 脉 敏 細 = ソ 兒。等 ナ 緊 出タニノ患者 演員 テ 細 儿 ヲ ラ用 醌 E 力 知 挑 物 1) 軟輝 盈 起撥 鈍 ル >時=搏 譜語 或水 揚 Eo 1ª + 茶 IL 揚 i ス 衝 ス 此 n = ス

観察を見

ヲ接撫セン「ヲ被シリ、」」、「刺」、「」、「」、」、「」、」、「」、」、「」、「」、」、「」、「」、「」、「」、	度際ハス痙攣ノ運動。筋陽開動。頭振等ノ發い。其體度際ハス痙攣ノ運動。筋陽開動。要法ヲ施シ御財シロテリス 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
--	---

 一加テ吉利 一次府有 一下利 二、一方 一下利 二、一方 一下利 二、一方 一方 一方	収斂幾那(中国)の下利」、 「「利」の 「「利」」の 「「利」」の 「「利」」の 「「利」」の 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」、 「「利」」」、 「」」の 「「利」」」、 「」」の 「「利」」」、 「「利」」、 「」」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」」、 「」」」、 「」」」」、 「」」」」、 「」」」、 「」」」」、 「」」」」、 「」」」」、 「」」」」、 「」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」」、 「」」」」、 「」」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」」、 「」」	-		-			R. Marine	-		-	Contract over case over	-	-	-		-	-	-	-	-	-
験魚ノバボ 性液患 如 部,者 ~ 北熱症 数,施 シノ服利 ト溶者 シノ 潮病,アノ 潮病,アノ 潮病,アノ 潮病,アノ 潮病,アノ 潮病,アノ 潮病,アノ 潮病,アノ 潮病,アノ 小 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	又大川ノ 併 取 見 照 癌 许 世 进 甚 立 左 我 發 極 病 血 熱 又 二 攣 神 故 二 症 メ	敏	例チ舉グ。皆每常良驗ヲ得タリ	利又腹滿又此症、收敛ノ强壯劑ヲ的當トス	心者ナリ〇陽ノ虛億ノ頑麻シ發スル症ハ大重億ノ頑麻スルカ若い暖ノ感解已甚キョリ	般ノ治法ヲ施ノ下利止サル者ハ諸	利ノ	液溶崩ノ下利ハ殊=惡性トス症治腐敗熱合併病	合併病ニ城セズ治法血液溶崩ノ下利ト同シ〇加	者多シ是甚必惡性ニノ患者多ク死スル丁腐敗熱	>接知シ難り、大便水,如久遂、腐敗人症,見、又	橋型ノ諸症 ノ發レ或内部炊食 ノ病生シ豚細弱 二	神經熱	熱ノ療法二從テ治スベシ	衝動劑保	進ムヲ以テ知ルベシ是熱病ノ風極ノ一症タル故	ハ下利スルに随と患者逾疲労と諸症建に酸重に	ほ ノ患者	○病毒ノ排泄ニ非ズメ數劇ノ下利スル者ハ甚ダ	一加テ吉利詞爹兒上之施以殊効ア非	す 言不正 ううう 十三 ノノン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
タ北シ感サ 症ノク ニョウ此 諸康シシ下効 う利 教爾ル 治下死 腐崩症 薬極諸難利ア			W	剤フ	酸スル症	そハ諸		症治腐敗熱合	ノ下利ト同シ	ク死スルフ腐	~ 腐敗ノ症 ラ	ヲ朝生シ豚細	此症屢眩暈シ	~ 》二種歌	諸藥ノ握用ル	虚極ノー症々	シ諸症建善酸	シ 難 年 井 年 小	下利文山者八	効,水非,州南人	1. 1. HE D

2

÷

[']Kitasato Memorial Medical Library

加

.

や問惑意

兼 家 軍 軍 志 二 更	生み患元シ寧痛。 レ若來或急肢	神産或愛傷ナ走ス神經一日一年或愛傷ナ走、神經一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日一日
志 二非 北 主 邦 北 水 其 兼	- 別精經易ノ煩 し = 力熱ノ乾寒 し 治 ヲノ肺 数等	ドラ教命の「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」
小 年 七 九 年 九 年 元 年 元 千 十 元 千 十 元 千 九 7 1 1 1 1 元 和 清 二 和 二 和 二 和 二 和 二 和 二 和 二 和 二 和 二 和	并习補症衝ダ散	歌や中症ナニ 顧ノ症兼併 ズ者傷ヨ川多振惑アレ篇
第トショ酢	告 = 寒 揮 ヲ 勢 肺。	秋戸市 京市 京 京 市 市 一 京 一 寺 一 一 寺 一 一 寺 一 一 寺 一 一 寺 一 一 寺 一
黄品除ルマ東	リルヲ剤者相機	喉=テラ神ス細毒鼻 腫神神發經①小ヲ窒。 痛經經ス熱神=兼每
安シル南京方法学	成 排 月 ア 進能 ア 北 月 川 退 ヲ ア 北 月 □ 増 坊 日 レ 主 事, 是 城 ゲ	痛經經ス熱神ニ兼毎胸熱熱ルノ經メレ脱りトノ以症熱次が發刺ナ正前状ニ序流熱

險為子諾ノ侵液痛リ。ヲ 貼ヨニ 塗ニ 慎 蒸動 差 ノニ 泥 症 峻 朝 纏 ノ 胃 排 メリ 非 渣 是 ヲ 湯 ヲ 菁	R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	施ス所ニメ發泡セシメズ故ニ効ナシ予其危険ノ	芜菁膏ヲ貼ス然に皮屑ヲ衝動健運	曾朝ノル鲁克栗い更登青ニハドノいしって本子尼朝又與ルニ微功ナシ又保固强壯朝又與ルバ諸症	ノ教歌胸痛等ヲ發スル者ナリ。一醫揮發壯神ノ峻	縣ノ神經ヲ刺戟 シ其熱除カズ且,胸中諸器ヲ侵刺	狀アリ熱勢花苒トノ減セズ。是傷冷毒ノ酷厲液纏	腸些モ汚物鬱滞ノ候ナク欬嗽歇マズ時、胸痛,	泄ス〇一小兒生レテ六週危篤ノ神經熱ニ雅り胃	暫ク膿汁出ンバ蒸氣及小便二代リテ能其毒ヲ非		排泄スル候ナキ者ハ芫菁膏特ニ効アリ是ヲ貼ノ	レバジズ治スルマナシ〇其毒素氣液及小便ヨリ	トナリ或完青膏發泡ノ柿汁トナリ排泄スルニ非	ヲ表發ノ蒸氣ヨリ發散シ若ハ小便二通利ノ塗渣	加ベシ〇傷冷毒、殊三稀涼酷属ノ液ナル故三是	法ヲ施スモ良驗多シ但下劑及"為血法、最"戒慎ヲ	增益シ且發泡膿潰ノ其毒ヲ排泄ス又患部二蒸湯	膏ヲ貼ノ最勤アリ是ヲ以テ刺戟ノ其部ノ運動ラ	龍腦 阿芙蓉 民垤列利精等/如之殊=芫菁	雙續有越幾斯劑 非阿斯失亞密越幾斯劑	お言来書 うろう たい たいこうう
---	---------------------------------------	-----------------------	-----------------	---	------------------------	-------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	--	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	-------------------

	Y			1	c						1										
曾丁和朝兵竟 卷九 標月 國際登览	胃腸污物徵候與蘇魚主	、 胃腸毒補泻利害	胃肠毒抑遏精力	神經熱膽液熱合併症治	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	胃腸毒患害為一時味識草類	神經熱胃腸熱合併篇第四	幾那個青發成青	卷九	新訂增補和蘭藥鏡標目	新訂增補和蘭藥鏡卷八祭	按不同一心兒生」,夕六選意為,柳凝熟,後,四	陽磐を活物膨滞ノ係ナク欢吹数マズ時、柳熊	秋下川船掛接祥什以,旗上以是,接次奉》陳属蒙	「 都 、 御禄 前 朝後 」 其熊 除 ケ × 其 朝 中 諸 聚 ぎ 渡 い	以被操奏操奏部行不可若女可以有許發起神史	快ヲ得次テ强壯滋補ノ劑ヲ與テ全功ヲ收ム	ヲ發ノ肌膚津潤シ小便始テ溷濁ニノ諸症漸, 輕	兩三日の教体之呼吸寬舒熱夢頭三减レ、大三蒸氣	時三於テ患兒ノ上帶三芫菁膏ヲ貼シ發泡メ釀膿	井言永南等金 え, 友 原 掌陸部

.

0

3 "

新訂増補和蘭藥鏡巻 料四一番アレモ亡幾一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	吐下劑, 一時一個, 一時一一, 一時一個, 一時一, 一時一
港九 一 走 市 御 二 着 第 四 男 馬 熟 売 二 常 弱 四 男 男 愚 熟 売 二 常 男 思 熟 売 二 常 弱 四 男 男 愚 熟 売 二 常 勝 熟 一 常 男 愚 熟 二 六 小 炊 て 朝 売 二 内 旅 御 熟 一 末 か 小 炊 新 点 一 大 ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ル ナ ー ナ ル ナ ー ナ ル ナ ー ナ ル ナ ー ナ ル ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ ー ナ 一 大 し 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 一 、 、 新 売 子 受 ス 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	合併病剂 強快 磨頭 頭頭 一 頭頭 建 一 頭頭 建 建 建 建 建 建 建 建 建 建 建 建

.

*

		And a	
自丁口的家院	「 「 「 <	ル故:特リ神經熱ノ治法ノミニテ功ナノ必ズ其 の或病性元來胃腸熱ニメ是ニ 鑑テ神經熱ノ諸症 新水ニ退ノ者數壁影セリ或患者自然ニ數下 考發メ合併病トナリ遂ニ吐剤若、下劑三年一、 一或病性元來胃腸熱ニメ是ニ 鑑テ神經熱」 非常主動がニ し、者數 「或病性元來胃腸熱ニメ是ニ 鑑テ神經熱」 指症 「或病性元來胃腸熱ニメ是ニ 鑑テ神經熱」 指症 下 」 う登ノ合併病トナリ遂ニ 吐剤若、下劑ニテ 治ス	北言村南京委到一老九一届雪雪龍

18

,

4

0

Kitasato Memorial Medical Library

熱見。唐故胃忽, シ熱後 シ睡釋レ因度却諸キ シ液勝, シネ、 シ酸, シネ、 シ酸, シネ、 シ酸, シネ、 シ酸, シネ、 シ酸, シネ、 シ酸, シネ、 シ酸, シネ、 シャン, シャン, シネ、 シャン, シャン, シャン, シャン, シャン, シャン, シャン, シャン,
--

運ルラ撥揚挑起スベキ丁国ヨリ論ナン然正師又 聖山ラ撥揚挑起スベキ丁国ヨリ論ナン然正師又 聖解僧係重ッ精力罷勞ラ覺にか如正是其精力真 體解愔係重ッ精力罷勞ラ覺にか如正是其精力真 體解愔係重ッ精力罷勞ラ覺にか如正是其精力真	熱ラ東山症トス、故=其精力ラ保護シ耳、皮 新ラ東山症トス、故=其精力ヲ保護シ耳、皮 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
「見」、「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」	創熱擾病或リョッ安云ノ耳

たいたち見

Kitasato Memorial Medical Library

1

スル者ナリ胃、微衝モ小其病毒=因テ胃神經鬱塞 スル者ナリ胃、微衝モ小其病毒=因テ胃神經鬱塞 スルオナリ胃、微衝モ小其病毒=因テ胃神經鬱塞 スルオナリ胃、微衝モ小其病毒=因テ胃神經鬱塞 スルオナリ胃、微衝モ小其物級ナル丁、耐ノ一大三方 、一丁ル病ノ常症トス。此皆限虚=屬スル者ナリ 胃、部ラー撃スレン共久忽死スル丁、耐ノ一大三方 、一丁ル病ノ常症トス。此皆限虚=屬スル者ナリ 、「胃腸汚物アレルトハ其勢忽全軀ノ和丁酸ノ一大三方 、「胃腸汚物アレルトハ其勢忽全軀ノ和「酸」」 、「胃腸汚物アレルトハ其勢忽全軀ノ和「酸」」 、「胃腸汚物アレルトハ其勢忽全軀ノ和「酸」」 、「胃腸汚物アレルトハ其勢忽全軀ノー」 、「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、

上東上的大

運「ル用汚①等必些到症 胃セ足リ汚及日能汚多又能者デ物真真ズモア 腸ザザ故閉ニハ物モン レザチ胃ア症害 手手 毒ルルニト腸衰ズ。壅灵	X
連「北用汚魚」」を発生了 運作が真正アリージャーションであり、 したがり、 したがり、 したがり、 したがり、 したがり、 したがり、 したがり、 たたり、 したがり、 たたい、 したが、 したが、 したが、 した、 たたい、 たい、	六百岁,
ス能者デ物真真なモア 勝ルレン 物胃 スパクション ない	事法夏く
除此吐ョ吐二物」威汚ス 醫ノョル徒與飲者	MAC / 1
ク症下増下般壅或動物ル 胃 葉機 戦 粘 ニレ食メニニア酸 弾が 整きを整理 7 間 多力 害液死 ジョン アンフラン たちき 鬱 ー 防 ア レアヨノナ 物 テ 因 ル液 促 ダイ	り 麦京 く
	京、
ビ剤非物唯一後胃胃心現タ / 除毒テキ こ 消固 川日 = レ自揮 ハ 候腸腸嘔 ズ 川 症 クラハモ ○化强 ス	レ ゲ
經胃是二强腸=物物引二症」 追非除一久常不劑 之	-
經育定二級勝一物物月二症」 現除一人常人們之 足月除劑少以無主人下胃 ノレス毒聚飲患用胃 ノスノノノイ化剤腸 二十人食者「月	日見

、など、

1

ł

4

宿唱和スル所ナレ圧是唯吐下ノ後患アラン「メキャンシュテテ、「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	第二百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百
後近来世不利ヲ發メ活物	クルベス間病ノ經然レル アシーン シーン シーン シーン シーン シーン シーン シーン シーン シーン

剤ヲ用ルガ如キ捷効ナシ或湯吐ヲ要スル症モ吐	テ吐下スル故=其劾選クノ大=瞑眩シ。徑=吐下	テ强テ吐下ヲ要スレバ藥量多ノ刺戟甚クメ後始	カラズン其効敏捷ナリ然二揮發衝動ノ藥剤ヲ用	故三各其主ル所ノ薬ヲ用レバ服量以ノ刺或甚シ	ト諸藥ノ主能小相契合ノ効カノ遅發スル者ナリ	>刺戟スル者、發汗スルガ如シ。是皆諸器,感觸	スル者い寫シ野ヲ刺戦スル者い小便ヲ利シ。皮藤	ジカラズ。假令バ胃ヲ刺戟スル者ハ吐シ、腸ヲ衝動	ノ諸薬モ亦各自固有ノ票性アリテ刺戟ノ効カ同		性ノ感觸アリテ刺戦ノ受ル丁谷興ナリ刺戦衝動	ルモ亦害ナキィノ得ズ〇凡體中ノ諸器ハ各區自	北朝ニテ吐下スルモ亦害アリ縱止指ニテ探吐ス	トー般ナリ、若吐下果ノ神經熱ニ害アラバ揮發强	潮、補為,別アレルロ下スル=至テハ郎吐下潮	ヲ衝動ノ遂ニ嘔吐シ若ハ下利スルコアリ。然ハ薬	多量=連進スレバ是メ以テ頭リニ胃腸ノ蠕動機	衝動ノ藥品假令バ怒弗蒲鎮痛液麝香葡萄酒等ヲ	ミナラズ究竟名アリテ寶ナキ事トス其故ハ揮發	恐レ。吐下劑的當ノ症ト雖王運疑ノ其期ヲ失フノ	北言未度要事
			-		L,			- and the second		L									-		1

.

		Provide the second s	
ノホームで利スレバナリ然、是北下朝ヲ悪	下ス。海下メ功ヲ得ルたハ郎下剤ノ功キメ強壯剤静海潤ノ如キ品類モ多服メ腸見刺戟スレバジ海ア用ルト損益利害自ラ判然タルベシの凡幾那及	、院、城街之易キ者或病毒酷烈=ノ刺戦甚が若、、勝、城街之易キ者或病毒酷烈=ノ刺戦長、「「「「「「「「「「「」」」」、「「「「」」」、「「」」、「」、「」」、「」	血中ニ泛溢ノ更ニ諸惡症ヲ増發シ或素ヨリズノ却テ下利スル如キ意外ノ害ヲ速キ究竟

1

●或熟熟其他神經熱,潤有,諸症二右,胃腸=汚 、或熟熟其他神經熱,潤有,諸症二右,胃腸=汚 、或熟熟其他神經熱,潤有,諸症二右,胃腸 調二非ルハ大抵良効ア川。水湯又ルハ汚物」を患者,精力ヲ察スベシの患者常ノ長男,」、 調二非ルハ大抵良効ア川。水湯又ルハ汚物,有無ヲ ニメ害多シ。故二大便水湯トナリ精力虧損又ル 、速二下剤ラ止ムベシの患者常テ大三神思ノ勞 、速二下剤ラ止ムベシの患者常テ大二神思ノ勞	Aノ後ハ其吐下三六治愈セル丁ラ察セズ,漫二揮 の大為アリテ些王城衛ノ候ナキハ必ズ胃腸汚物徴候 舌苔ヲ以テ胃腸汚物でしか」シ難ノ。汚物ナシト雖モ他因ニ由テ苔ヲ現ズト鹿 下ル的候トス或感心嘔噦シ或優意氣ヲ殺シ或面 家スルニ心下大ニ苦悶スレE呼吸不利短促セズ。 アル的候トス或感心嘔噦シ或優意氣ヲ殺シ或面 アル的候トス或感心嘔噦シ或優素を若アリ殊三審 な、為アリテ些王城衛ノ候ナキハ必ズ胃腸汚物アル確徴ト アル的候トス或感心嘔噦シ或優素を若アリ殊三審 で、一事」。 「」、「」、 、」、 、」、 、」、 、」、 、」、 、」、

.

火キ品ヲ住トス朝後方ヲ與ベン	故二山潮亦し百萬格安那ノ如キ腸ヲ刺、憩セシムル「吐剤」比スレバ外ニモ剤、「「大」」、「「「「「「「「「「」」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」	「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」
り、是其藥力。胃ヨリ腸ニ連及メ腸神經ヨリ、是其藥力。胃ヨリ腸ニ連及メ腸神經ヨールシュン分時毎二一服死與ヘキタ ちお多備設 二氏 あれり時報 二氏 あれり時報 二氏 あれり しょう	潮亦し百尊格安那ノ如キ腸ヲ刺戟スルフムルフ吐剤=比スレバ殊=甚ケレバナリ。吐剤尤。良トス、下剤ハ腸ヲ衝動メ精カノ風的當トス凡胃腸汚物アリテ必ズ驅除スベ	+ 一時間心下困重途甚の頭を 一時で、一時間の一下困手精力逐一的 一時で、一時間の一下困手精力逐一的 一時間心下困重途甚の頭を 一下、「「」」」」」 一下、「」」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一、「」」 一 一、「」」 一 一、「」」」 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

1

Ē

.8

症>發レ。是、腹部拘痛攀急及城衝振ノ症,美、	朝武、レバナリ故、是王防ダが為、二右ノ朝中、鎮朝武、レバナリ故、是王防ダが為、二方、「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」

Summer	Contrastingueses and
レ者アリ是味=惡供トス共=多クハ産撃ノ運動 し者アリ是味=惡供トス共=多クハ産撃ノ運動 し、下聲痛自餘痙攣ノ諸症多りノ、」書無ランメント欲セベル百萬格安那六氏ヨリ 之下率痛自餘痙攣ノ諸症多りノ吐劑ヲ與テ些モ 支症必不發動セントス恐い者ハ先,鎮痙剤ノ吉利詞 意思,引起,之時,前一,一, 之下,是後吐劑,一,一, 之下,一,一, 之下, 一, 一, 一, 一, 一, 一, 一, 一, 一, 一, 一, 一, 一,	勝神經=通徹セズメ効チ奏セザレバナリ 家六神經熱田復=向と諸症漸退キ諸器ノ機カ大 渡セズ健胃難尽與」にモ敏大外メ仍胃腸壅滞ノ使 ラ兼に者、本病配ニ潰散スレモ胃腸ノ餘毒未ダ すが暢メ充張ン其鬱毒ニテ慶過セル全軀ノ精 スレバ諸症解散ン其鬱毒ニテ慶過セル全軀ノ精 スレバ諸症解散ン其鬱毒ニテ慶過セル全軀ノ精 の好暢メ充張ン其効数那葡萄酒=勝レリ 」及所=非ズ然に其吐剤ガラズ痙攣ノ消し、其効下剤

Þ

Kitasato Memorial Medical Library

The second se	Increase of the second state of the second sta
*因テ其運行ラ威損スル=非ズ假令バ硇砂ノ如 龍ザル者アリ此症、硇砂ノ町をデル、 御剤用法、湯剤=二般アリーハ血液運行ラ威損、水湯下ノ効アル中和鹽消石、湯利、デー、加液運行ラ増進ス〇其運行ラ減損スルム 類ハ湯下ノ効アル中和鹽消石、湯利、二般アリーハ血液運行ラ減損 としハ血液運行ラ増進ス〇其運行ラ減損スル品 類、湯下ノ効アル中和鹽消石、湯利、酸、水諸品の「 の飲潤剤」トロフト、「用、剤、然正此皆湯、下ノ効 有、「」、「」、「」、「」、「」、」、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	日、日本山政、一大小小市、 二、山大山政、一大小小市、 二、山大山政、一大小小市、 二、山大山政、一大小市、 二、山大山政、一大小市、 二、山大山、 一、市大山、 一、二、 一、 一、二、 一、 一、二、 一、二、 一、二、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一

The production of the second s	○神經禁ヲ與ズノ温性下剤ヲ九當トス或属會ノ如用、シの御經禁ヲ與ズノ温性下剤ヲ九當トス或属會ノ如 う病損ストム、カラズの就下消物壅滞ヲ海下ス う病損ストム、カラズの就下消物壅滞ヲ周と或 し、三或後性ノ酸收下剤谷末秋度、商ヲ用と或 度、非利詞參見トン或大貴、甘汞、答末秋度、商ヲ用と或 度、た、、カラズの就下消物壅滞ヲ周と或 度、し、二、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	行き、「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」、「「」」」、「「」」、「「」」	北言不良夢を 老力 二月 雪雪 那

deter

オールが加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加
--

ニメアン、 「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」 「「「」」」」」」」」」」」」	磨ノ慶藥タル麝香>兼用スルニす効ナシ。又阿芙 磨ノ慶藥タル麝香>兼用スルニす効ナシ。又阿芙 潮、配ニ峻効ノ品>投スレ医症ニ非ズ,揮發衝動 神經虛應ノ壅擊ヨリ發スル患症ニ非ズ,揮發衝動 神經虛應ノ壅擊ヨリ發スル患症ニ非ズ,揮發衝動 神經虛應ノ壅擊ヨリ發スル患症ニ非ズ,揮發衝動 神經虛應ノ壅擊ヨリ發スル患症ニ非ズ,揮發衝動
--	--

1

吐劑,用、牛徵候未必著實ナラ大故二先,網草二	③一男子三十二歲體票薄弱。依非是理此」有疾ア	吸快利シ胸肠痛速=減シ患者白ラ身體ノ一變セ 中刺ヲ與レ大節ナカリセバ患者白ラ身體ノ一變セ 「諸症ヲ發セルトヲ顧慶セズメ治スベシ」」其病原胃腸ノ ド朝ヲ與レ大節ナカリセバ患者白ラ身體ノ一變セ 中刺ヲ與レ大節ナカリセバ患者白ラ身體ノ一變セ 中刺ヲ與レ大節ナカリセバ患者白ラ身體ノ一變セ 「諸症ヲ發セルトヲ顧慶セズメ治スベシ」」」其病原胃腸ノ 得ルトモルベシ

4

	r :								-
膳液様ノ汚物ヲ吐ス因テ予意/是必ズ腐敗酷属苦悶 堪、死死モ勁帶ヲ以テ緊素セルガ如シーノス		· スレアシンドシンドスレアラ京朝下レ谷能労ヲ復レ鎮痙朝ヲ以テ其危朝ノを撃労ヲ復レ鎮痙朝ヲ以テ其危朝ノを撃	盡ノ消散人但精力罷勞逾甚シ予意ラノ此病。旅街	皮膚潤小便赤。舌苔除カズ。然旧頭	腹滴セズ。頭腦中火を患苦ナク却テ精神爽利=週豚百二十動。盈揚スレに按メ虚軟。心下落脹スレル	メ呼吸ヲ阻シ些を睡うズ翌日諸症轉危劇ヲ加へ更項ヨリ曉マデ大煩悶シ呃逆殊=甚ノ。抽掣状 ニ	加入然在臂膝ノ疼差減シ肢體蒸氣ノ發入其夜三薄途甚這翌日吃逆甚么微下利シ呼吸不利就敢增	夜噫氣變又呃逆下十儿,因テ薄荷泡劑ヲ與ルニ煩ル軟膏ヲ患部ニ擦シ芫菁膏ヲ脚ノ疼處= 那又其	答末林度ヲ加用上吉利詞爹兒ヲ施之鎮瘦ノ効ア

.

神恐、然下又要な、「大要」」」」、「「「「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」
便振肌=懼頭患留之。此斯太他後幾為錢尹七 秘眼層太子痛上五屢 酸如數胃熱那下子與儿

開去吉ナン「寒太以為此病神經難之」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」		
I was a straight and the	神甚ダ勞罷ス乃前朝=葵那白芷ヲ 「電阿芙蓉液二十滴ヲ加、藥効ヲ助ケ 「電阿芙蓉液二十滴ヲ加、藥効ヲ助ケ	大学をヨリ發スト或以為此病神經熱ニノ其嘔 第一世、人以為此病神經熱ニノ其嘔 第一世、人以為此病神經熱ニノ其嘔 草ノ泡出、放冷、動和海鎮痛液ヲ加へ十二時 類草根 三 幾 約ヵ万約ノ確徴 子助山力。否并レバ必太城蟲 之兼 に者 ナシ、泉人以為此病神經熱ニノ其嘔 なん、夏川、ト、然 に胃腸汚物ノ確徴 ショー治出、放冷、動和海鎮痛液 ショー、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一
		Les the second s

1

-

おいてう:意う 注意 たいてう:意う たいてう:意う たいてう:意う 注意 たいてう:意う たいてう:意う たいてう:意う たいてう:意う たいてう:意う たいてう:意う たい たいてう きん たい たいてう きん たい	11日の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の

16

31

沙糖 中鐵 シ滋養ノ効アル故ニ細末シー鏡半ヲ取テ乳汁ニ 之滋養ノ効アル故ニ細末シー鏡半ヲ取テ乳汁ニ 之滋養ノ効アル故ニ細末シー鏡半ヲ取テ乳汁ニ え芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○沙列布觸ハ際潤ヲ調 、又芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○沙列布觸ハ際潤ヲ調 、文芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○第六日仍煩悶シ 、文芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○第六日仍煩悶シ 、文芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○第六日仍煩悶シ 、文芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○第六日仍煩悶シ 、文芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○第六日仍煩悶シ 、文芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○第六日仍煩悶シ 、文芥子泥ヲ貼ス。夜中稍睡眠ス○第六日仍煩悶シ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	右水二十ろヲ以ブ泡劑トス其夜補睡眠シ呼吸緩 な中聴ラス第四日。大湯シ豚稍盈物以為在精力逾重應又然正脉沈衰せ不。通例神經熱ノ を快速院シ甚ダ死ヲ惊レ。咽疾甚ダ乾燥五日稍離語 「」」「「「」」」」、盈揚ス。ロ中逾苦ノ舌燥白色粘液被患 「」」」、盈揚ス。ロ中逾苦ノ舌燥白色粘液被患 又後方ヲ與フ 又後方ヲ與フ 又後方ヲ與フ 」
---	--

				-
自丁口到餐意 冬し 一見 三人	西英ラ兼用ス個精力罷劳以食進或太舌苔栗就、日本人用, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個, 一個	a a fair a a fair a fai	「売」の「「「「「「「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」	北言手該要有意之子」二十五一月三匹子

-

新 色 第十四日諸症大寬解又前方 前 個以許加用 若来除巡然因是酒石英一錢東東 1 非亞ノ泡劑利用テ全治ヲ告ダ十二日一派法法 許爾後漸次二四復入但微汗連縣メルス因テ撒爾 翌日ヨリ日快愈之第十九日始テ挑蓐,出日二時 訂增補 京法 市局基於為前例。 夏翁 文神思的虚影驚大說前病婆遙逐光之 和蘭藥鏡卷九終州小前合為於 軍至意說可 午後藤康六行通外患 帮大聽快支覺,颜 N.M. 糖郡大發用 亦後 不省,馬縣者聽賞 周童常 京一盤 這來麗 Ľ, 東大日 水海常 軍宠意 中 ,證

ナ 言示す

二十六

月月二日二十二十

Kitasato Memorial Medical Library

5

